

問10 県の取組でよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

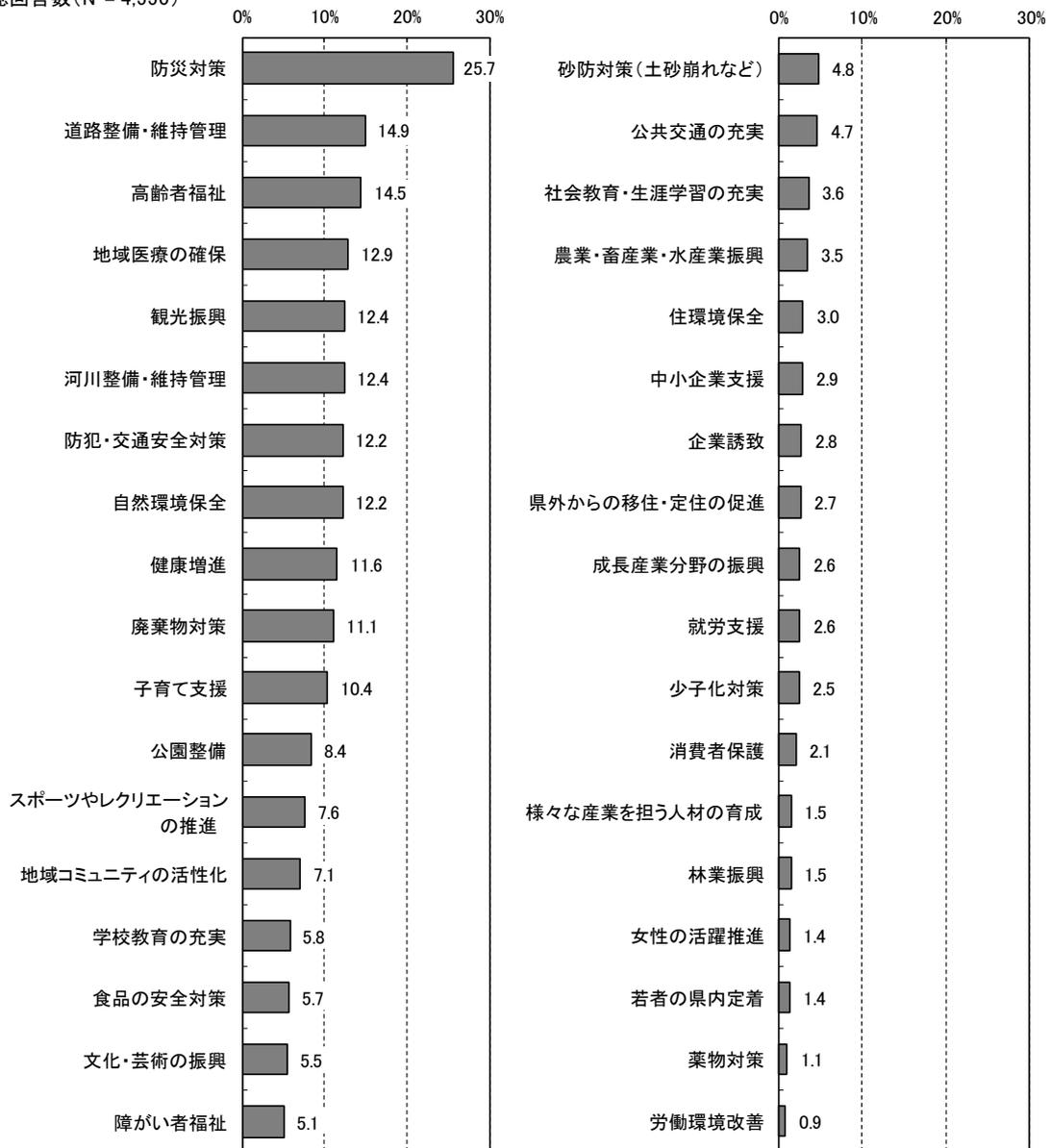
問10 あなたが、県の取組についてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。（それぞれ5つまで）

【県の取組でよくやっていると思う分野】

全体（図10-1）で見ると、「防災対策」が25.7%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」（14.9%）、「高齢者福祉」（14.5%）の順となっている。

図10-1 県の取組でよくやっていると思う分野

回答者数(n = 1,699)
総回答数(N = 4,550)



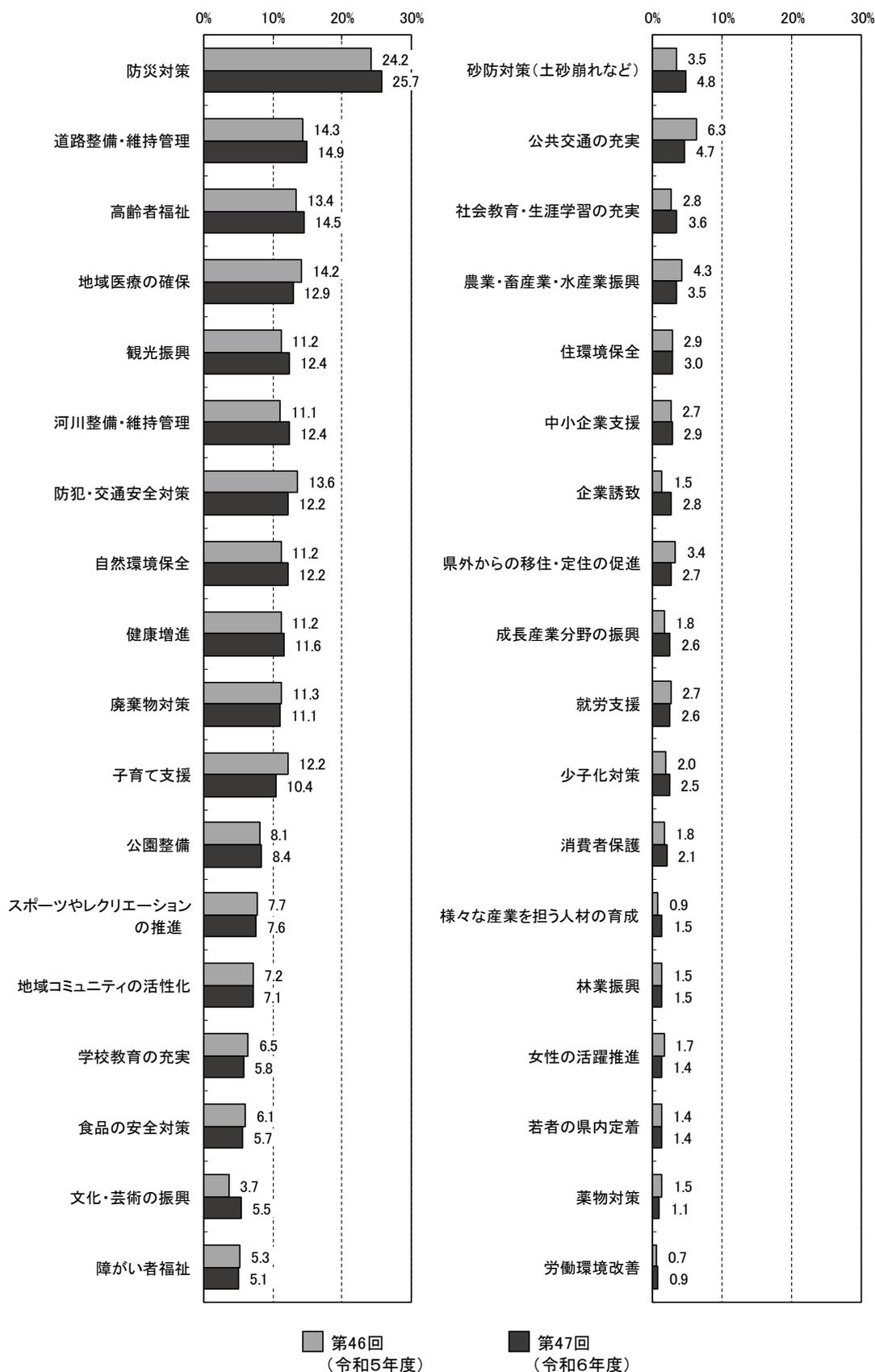
※ 成長産業:岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(令和6年度現在)

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全:騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

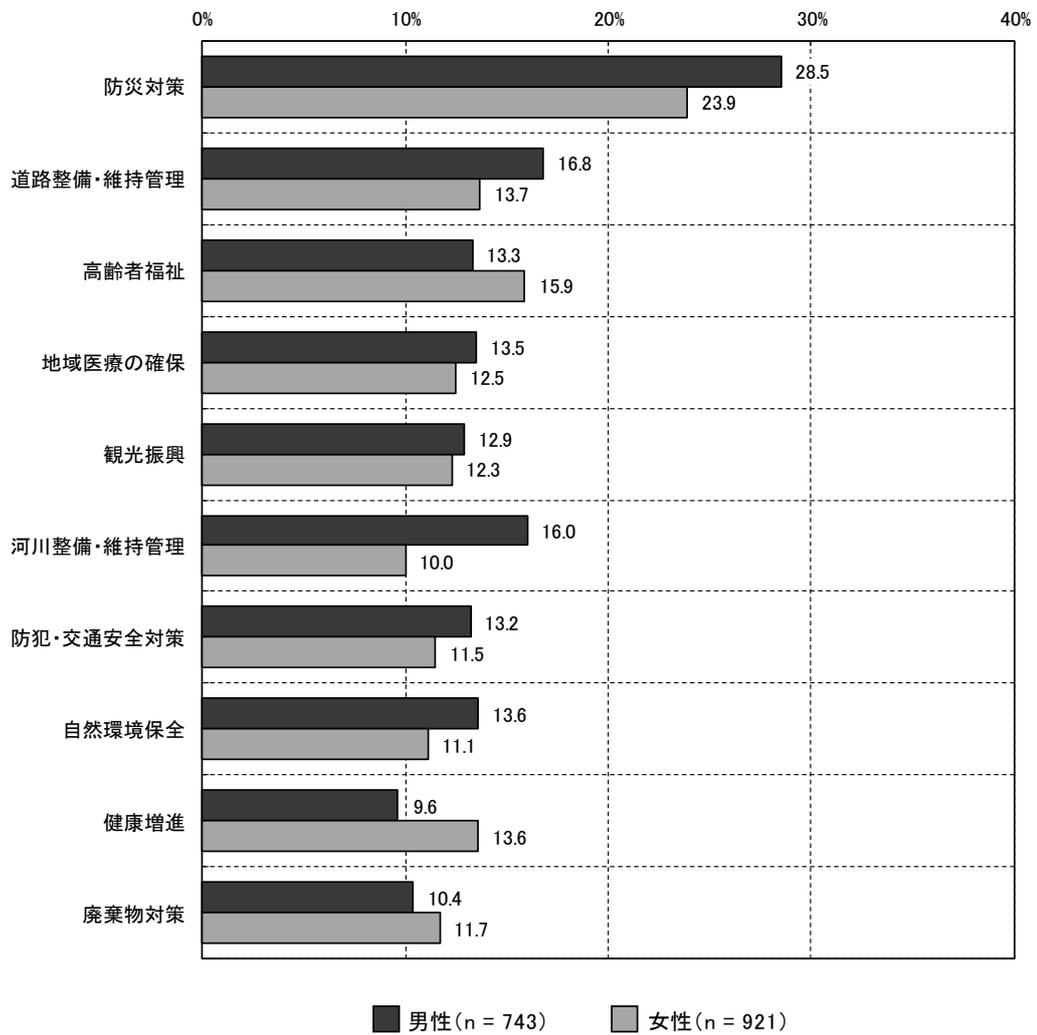
前回比較（図 10-2）で見ると、前回に続き「防災対策」が最も高く、次いで「道路整備・維持管理」となっている。前回第 5 位の「高齢者福祉」は第 3 位となっている。

図 10-2 【前回比較】県の実施でよくやっている分野



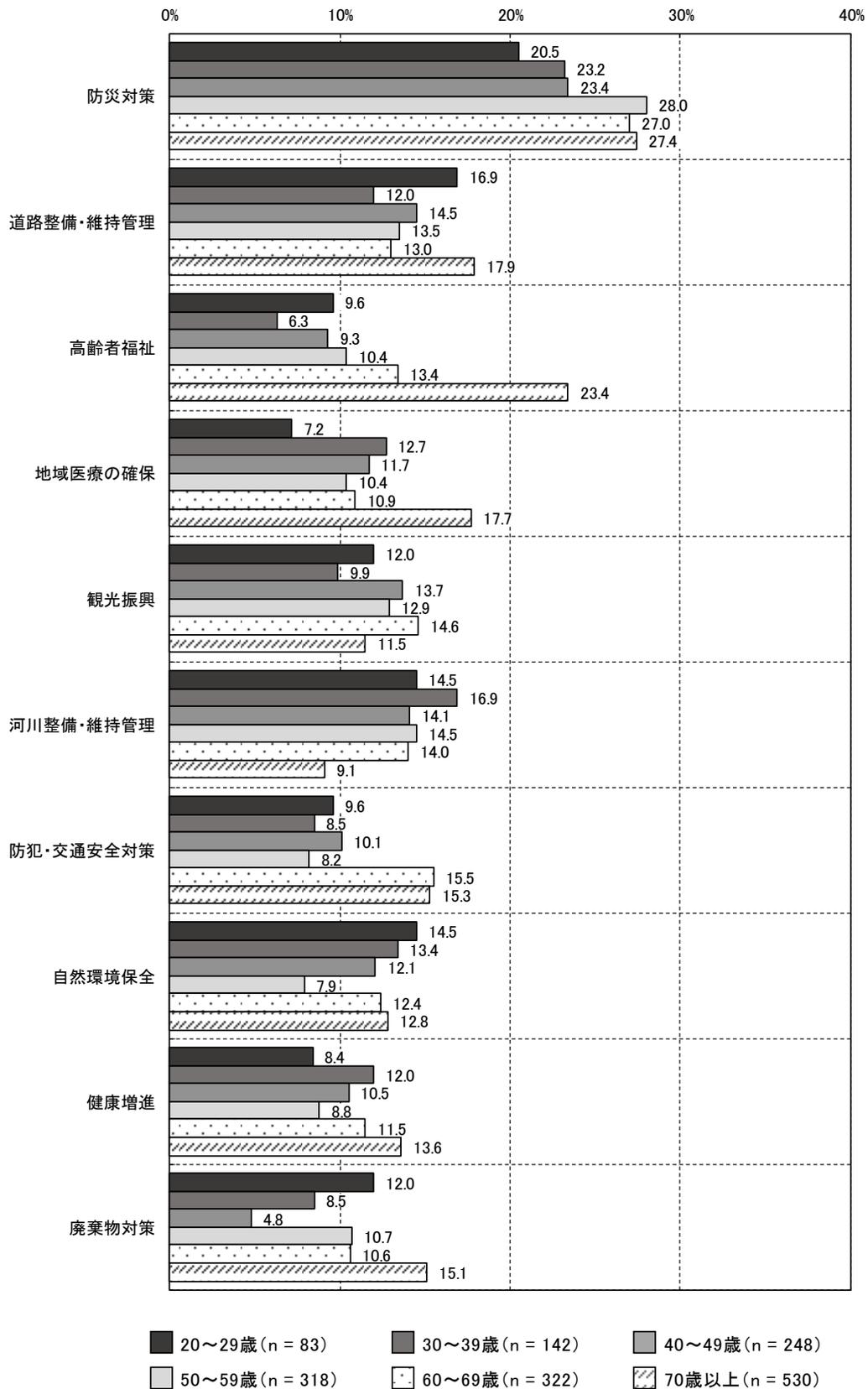
性別（図 10-3）で見ると、男女ともに「防災対策」が最も高く、次いで、男性では「道路整備・維持管理」が 16.8%、女性では「高齢者福祉」が 15.9%となっている。

図 10-3 【性別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



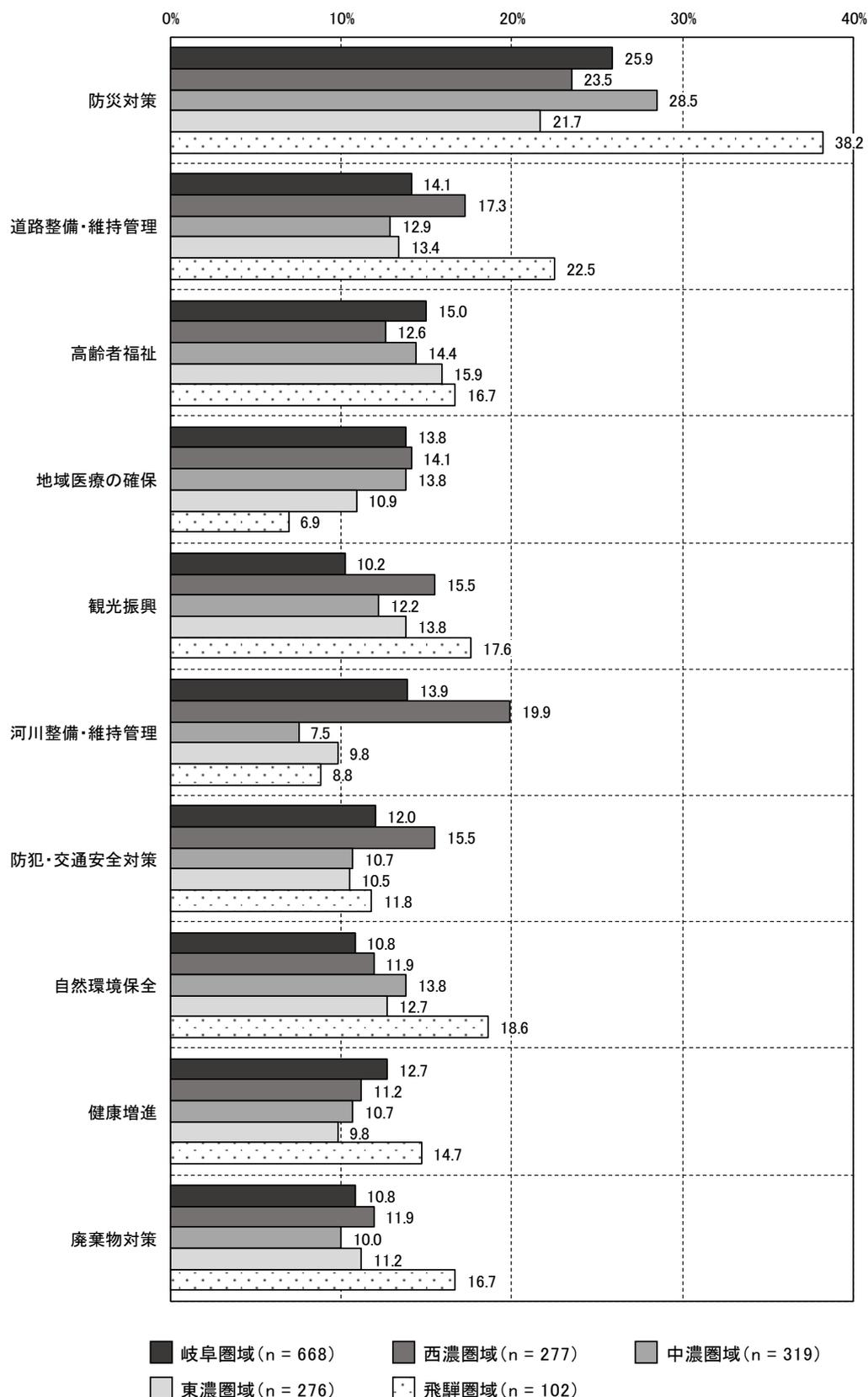
年代別（図 10-4）でみると、いずれの年代においても「防災対策」が最も高くなっている。70 歳以上では「高齢者福祉」が 23.4%と、他の年代に比べて高くなっている。

図 10-4 【年代別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



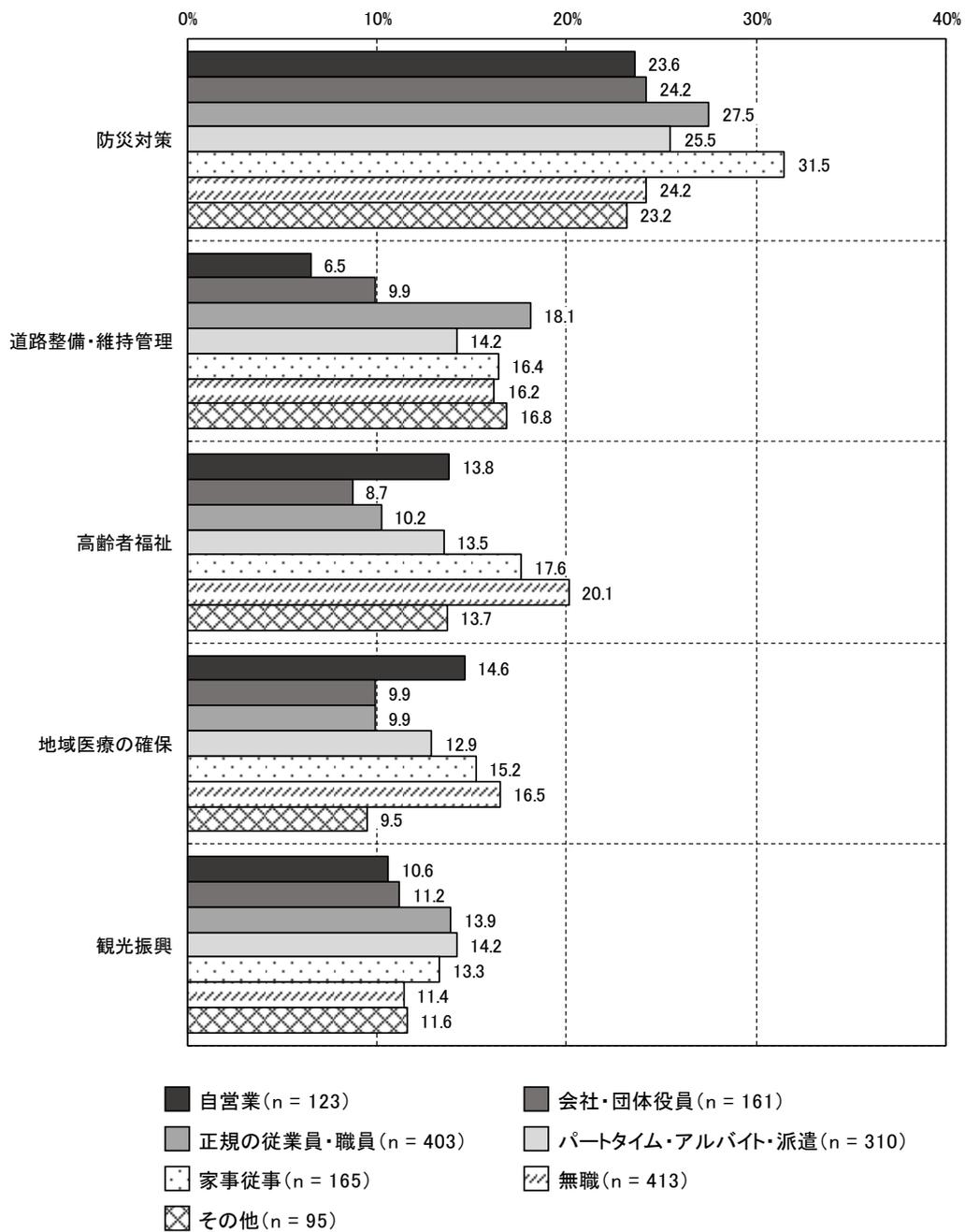
居住圏域別（図 10-5）で見ると、いずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高く、そのうち飛騨地域が 38.2%と最も高くなっている。また、飛騨地域では「道路整備・維持管理」が、他の居住圏域に比べて高くなっている。

図 10-5 【居住圏域別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



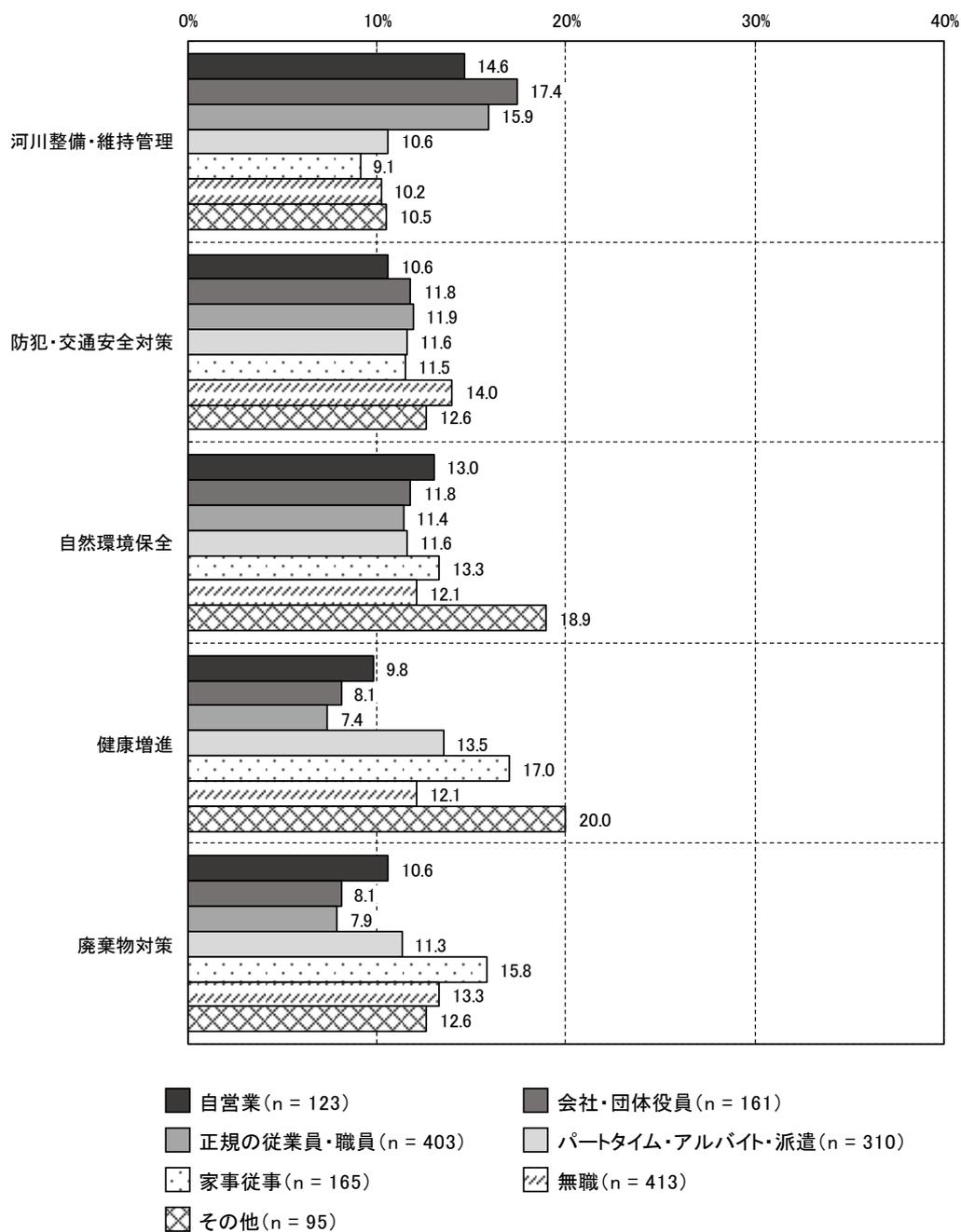
職業別（図 10-6）でみると、いずれの職業においても「防災対策」が最も高くなっている。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-6 【職業別】 県の取組でよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)



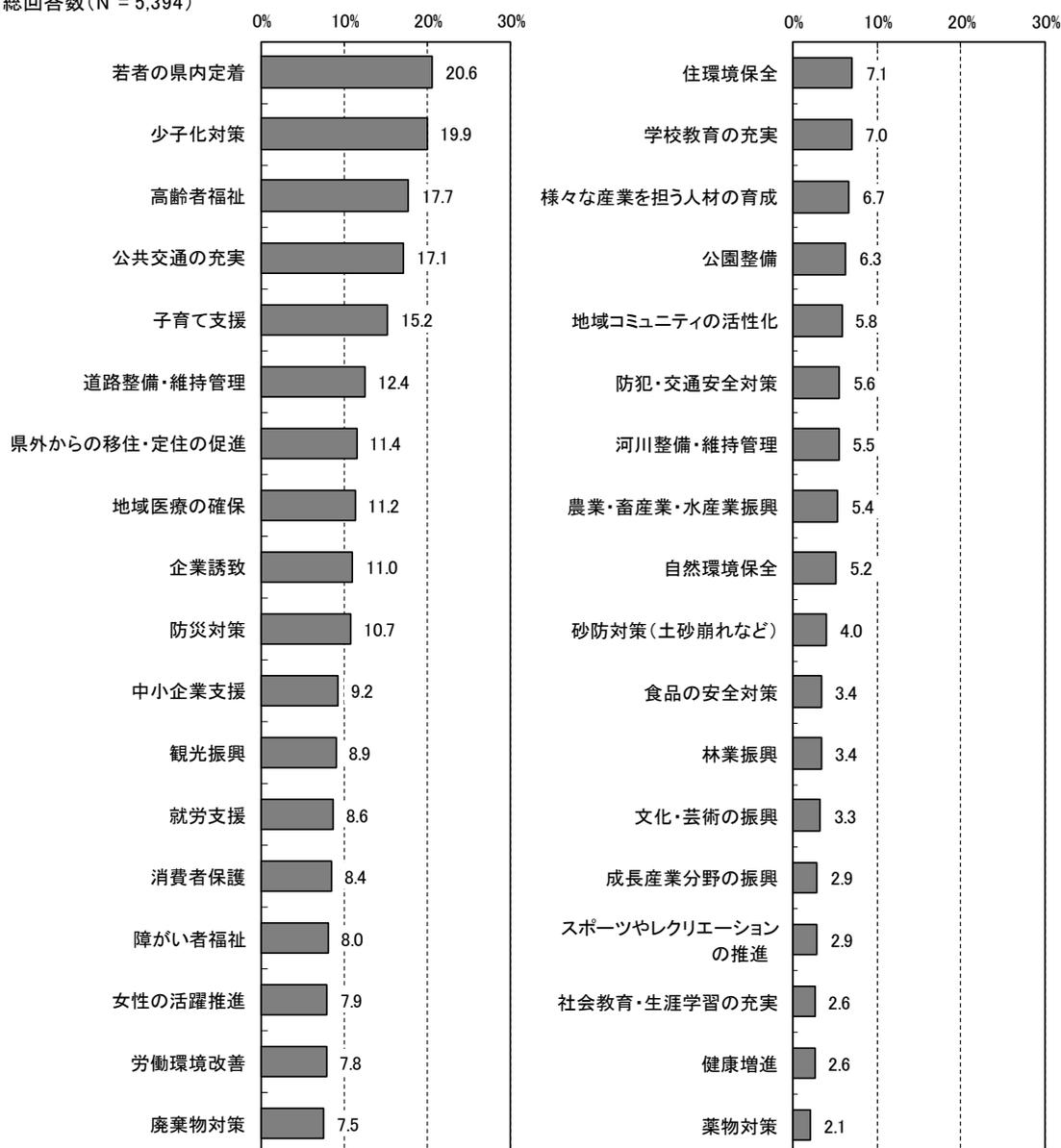
※ その他には、自由業、学生を含む。

【県の取組で努力が足りないと思う分野】

全体（図 10-2-1）でみると、「若者の県内定着」が 20.6%と最も高く、次いで「少子化対策」（19.9%）、「高齢者福祉」（17.7%）の順となっている。

図 10-2-1 県の取組で努力が足りないと思う分野

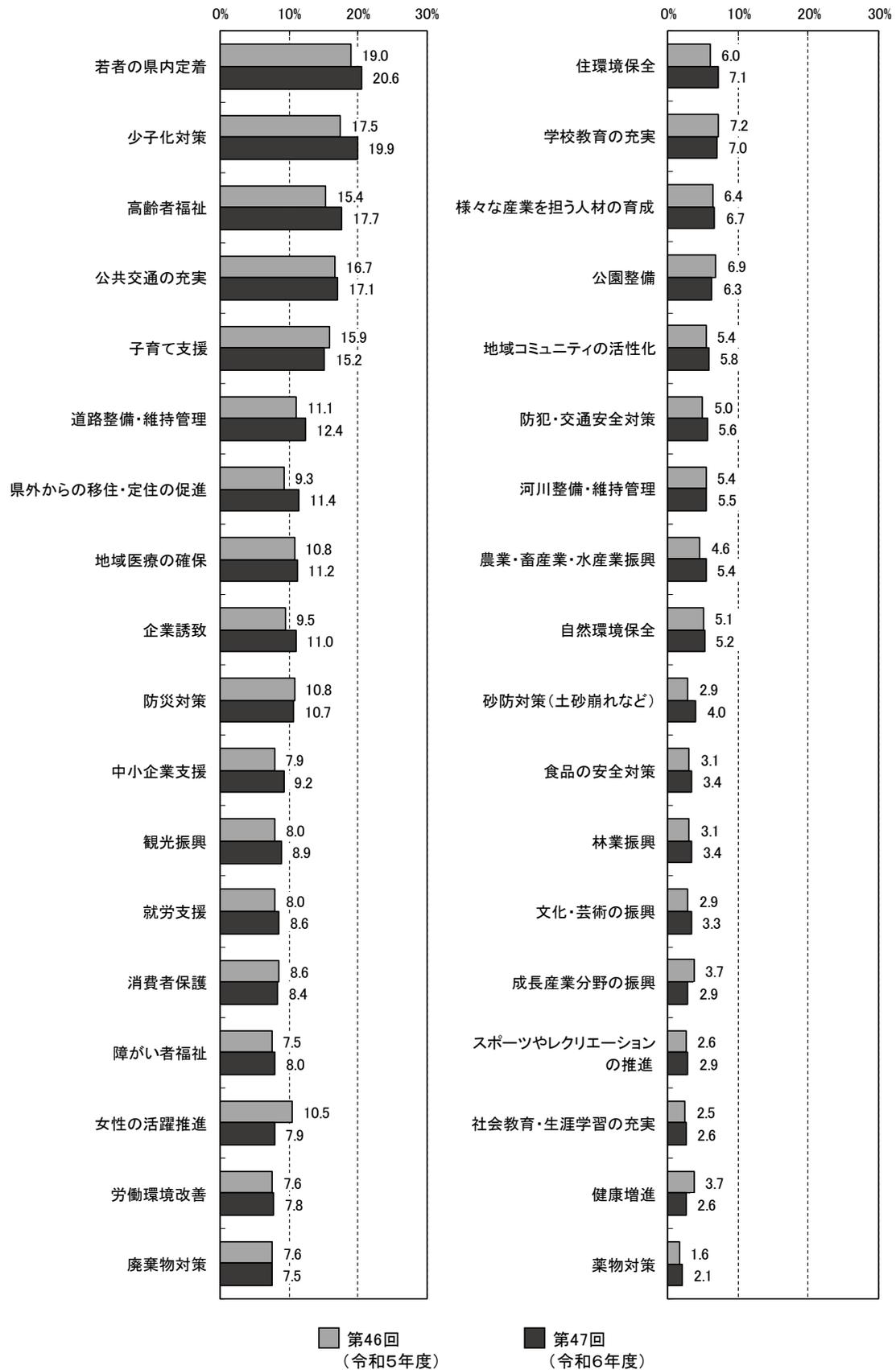
回答者数 (n = 1,699)
総回答数 (N = 5,394)



※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。
・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

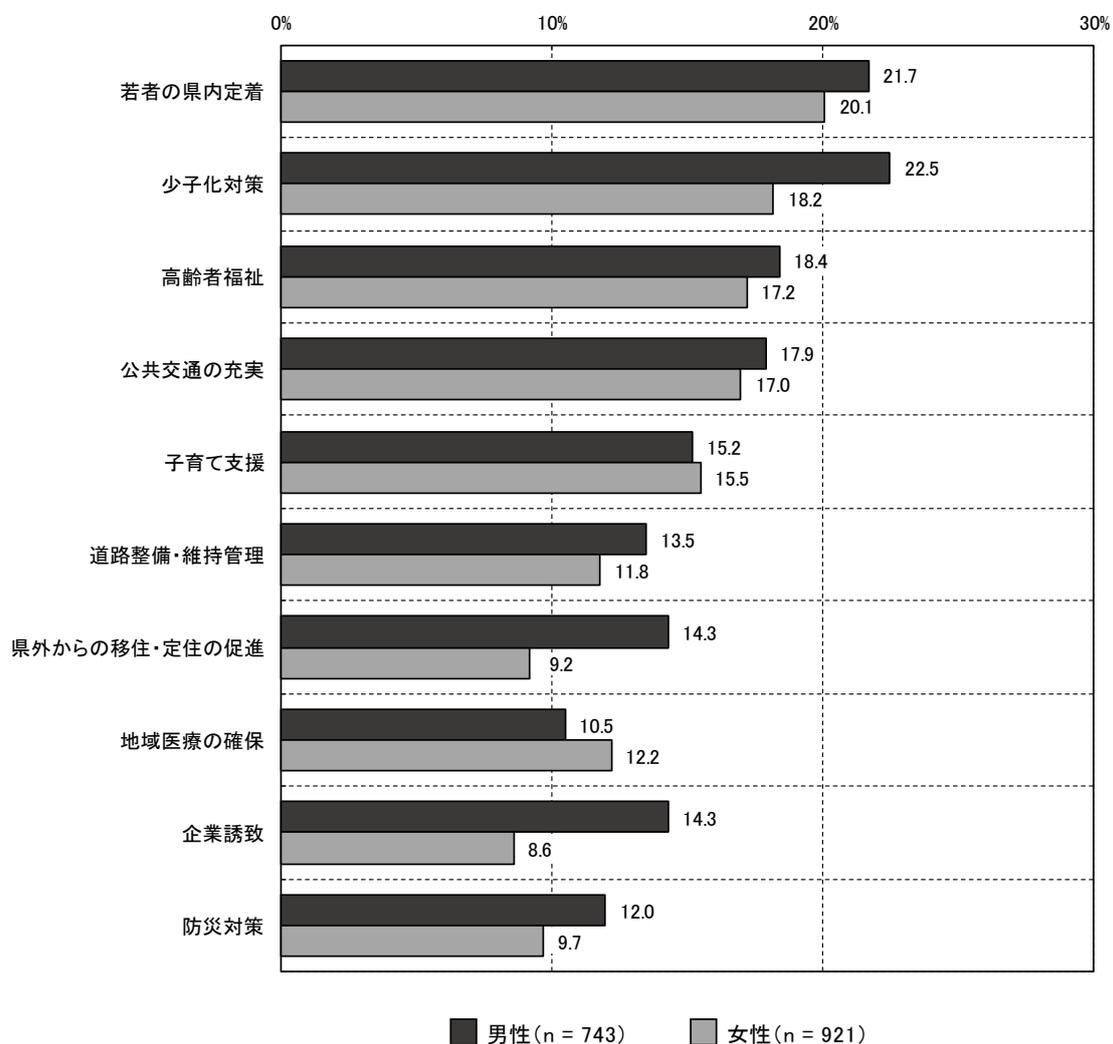
前回比較（図 10-2-2）でみると、前回に続き「若者の県内定着」が最も高く、次いで「少子化対策」の順となっている。

図 10-2-2 【前回比較】県の取組で努力が足りないと思う分野



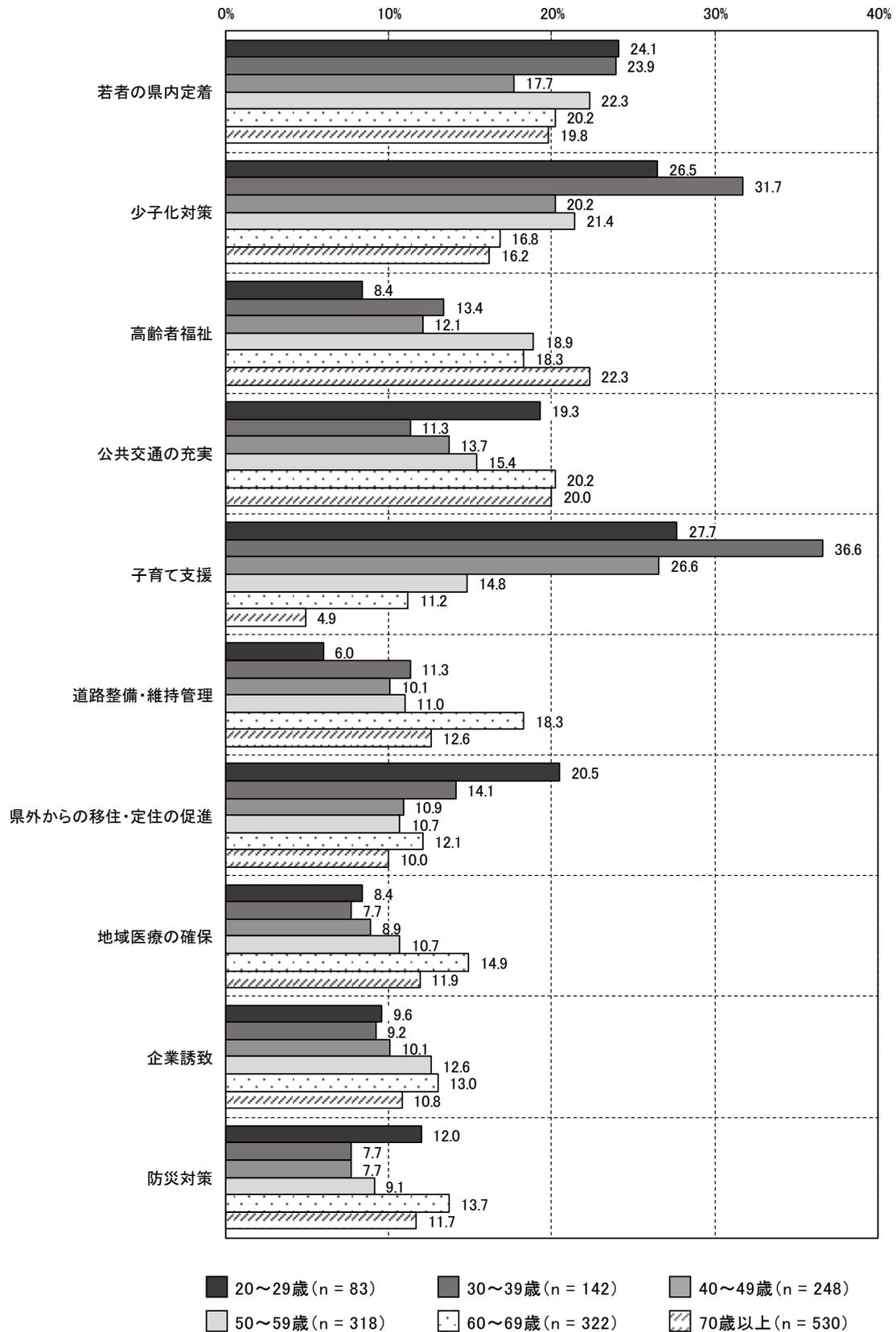
性別（図 10-2-3）で見ると、男性では「少子化対策」が最も高く、女性では「若者の県内定着」が最も高くなっている。

図 10-2-3 【性別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



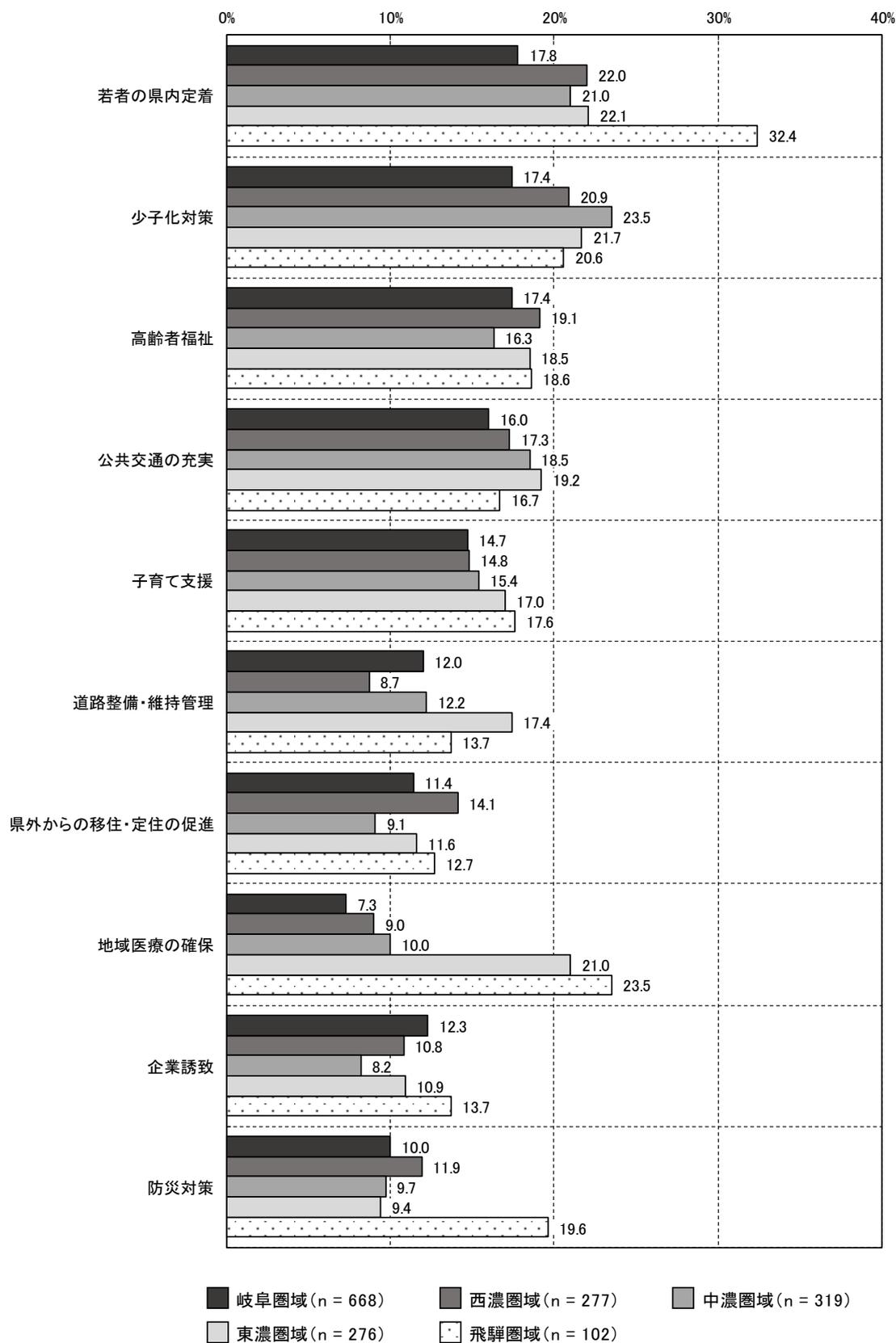
年代別（図 10-2-4）で見ると、20 歳代、30 歳代、40 歳代では「子育て支援」、50 歳代、60 歳代では「若者の県内定着」（60 歳代では「公共交通の充実」が同率）、70 歳以上では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 10-2-4 【年代別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



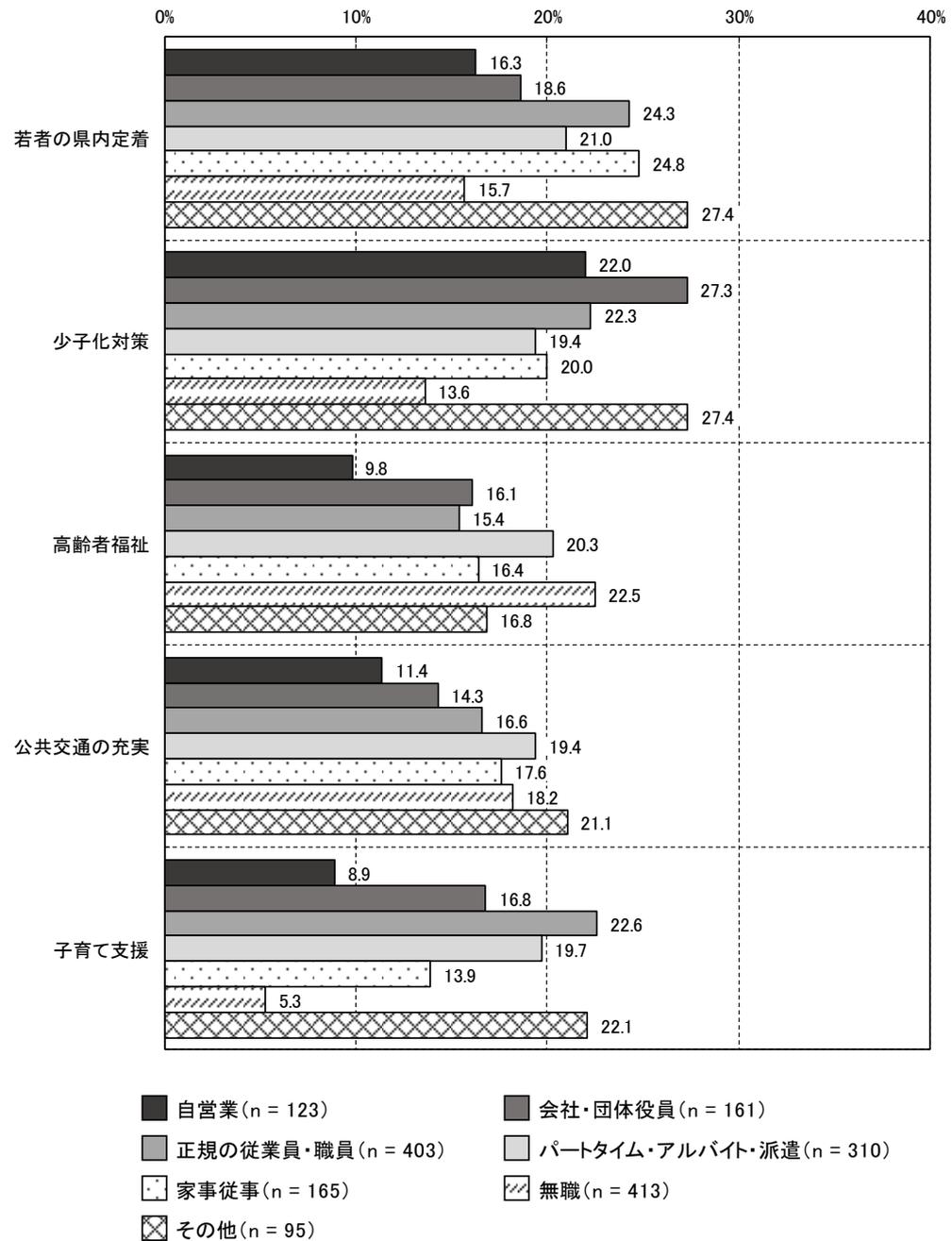
居住圏域別（図 10-2-5）で見ると、中濃圏域を除くいずれの居住圏域においても「若者の県内定着」が最も高く、中濃圏域では「少子化対策」が最も高くなっている。

図 10-2-5 【居住圏域別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



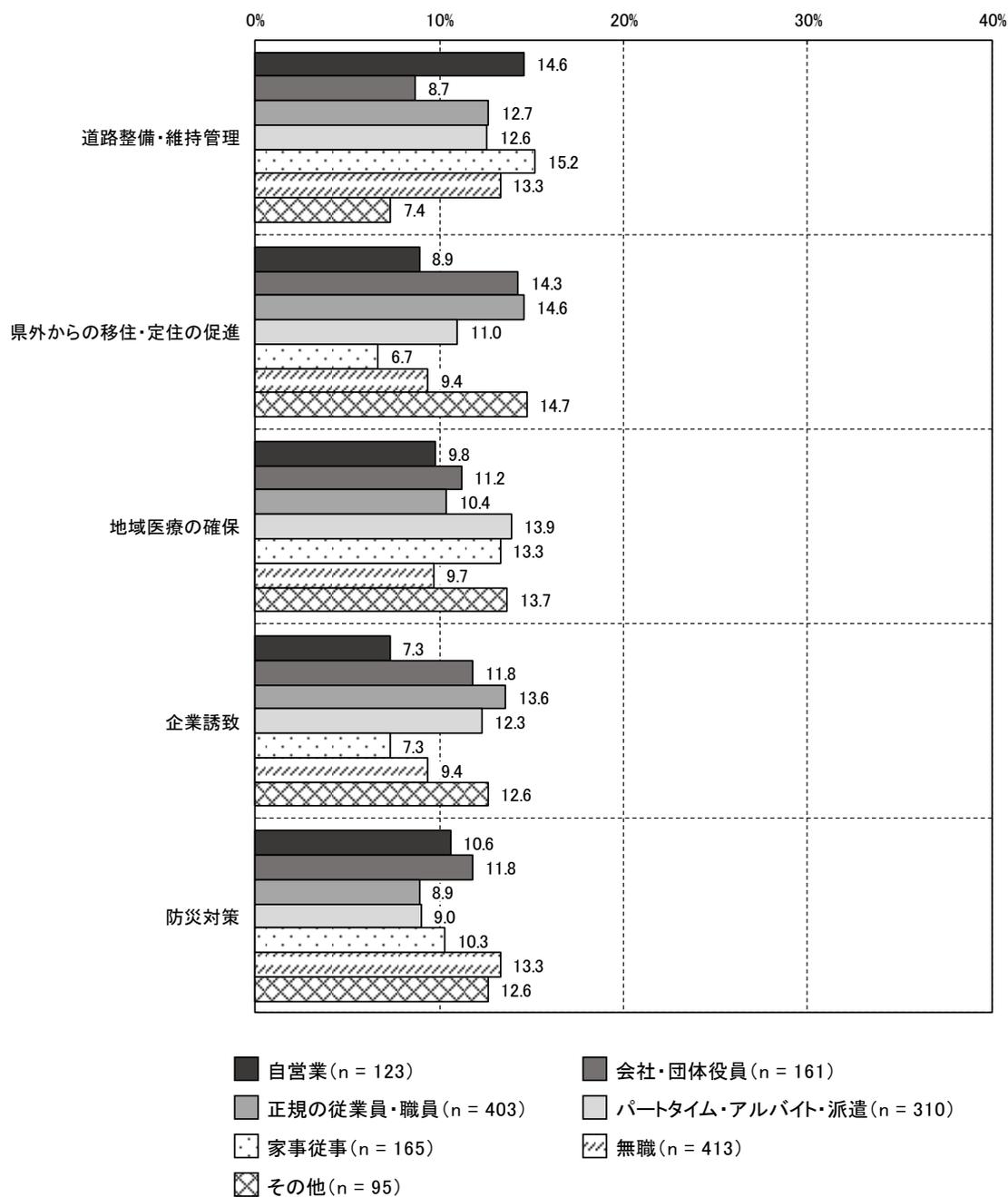
職業別（図 10-2-6）でみると、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣、家事従事、その他では「若者の県内定着」（その他では「少子化対策」が同率）、自営業、会社・団体役員では「少子化対策」、無職では「高齢者福祉」が最も高くなっている。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-6 【職業別】 県の取組で努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。